

## 6. 地球温暖化対策

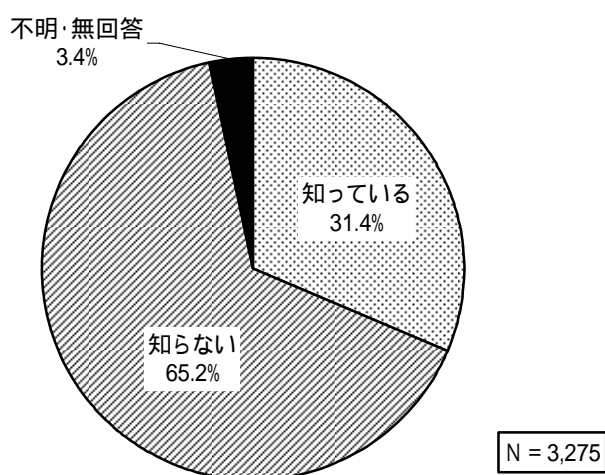
### (1) 温室効果ガス削減に対する取組

#### 温室効果ガス削減目標の認知度

問 26 あなたは、滋賀県が 2030 年に温室効果ガスを 1990 年比 50%削減する目標を掲げていることを知っていますか。( は1つだけ)

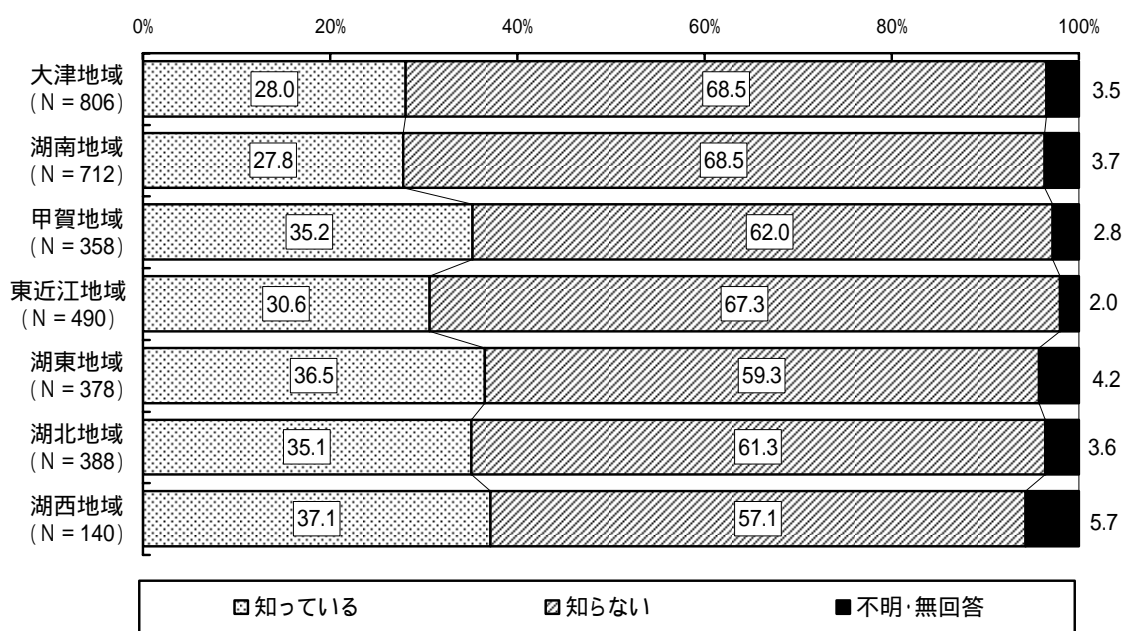
「知っている」は 31.4%。

温室効果ガス削減目標の認知度については、「知っている」が 31.4%、「知らない」が 65.2%となっており、認知度は 3 割強となっている。



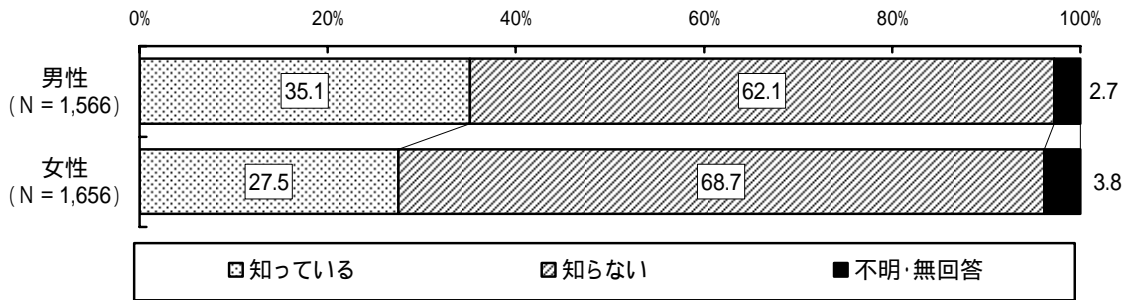
#### 【地域別】

いずれの地域においても「知らない」が最も高く、大津・湖南地域で他に比べ高くなっている。「知っている」は湖西地域で 37.1%と他に比べて高く、次いで湖東地域が 36.5%となっている。



【性別】

男女とも「知らない」が最も高く、男性（62.1%）に比べ女性（68.7%）の方が6.6ポイント高くなっている。



【性・年代別】

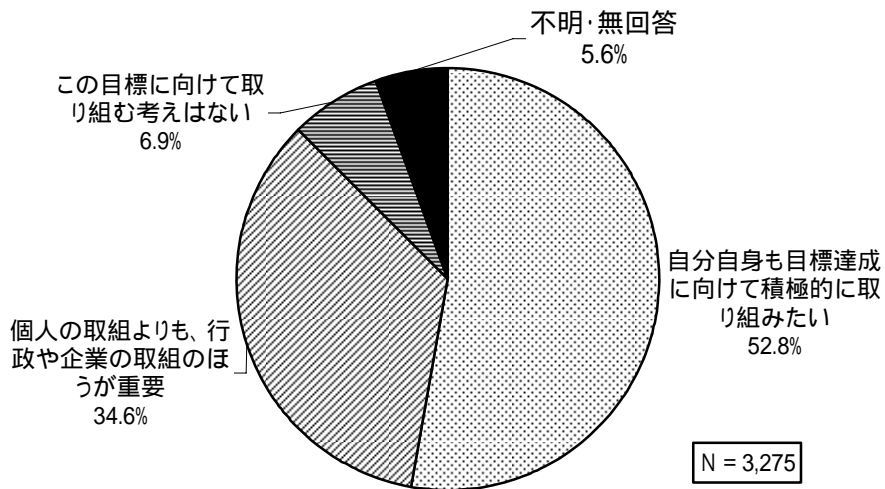
男女ともいずれの年代においても「知らない」が最も高く、70歳以上で最も低くなっている。「知っている」は男女とも70歳以上で最も高く、次いで60歳代が続いている。いずれの年代においても、男性に比べ女性の方が「知っている」の割合が低くなっている。

温室効果ガス削減に向けての取組についての考え

問 27 あなたは、この目標に向けて取り組むことについて、どのように思われますか。（は1つだけ）

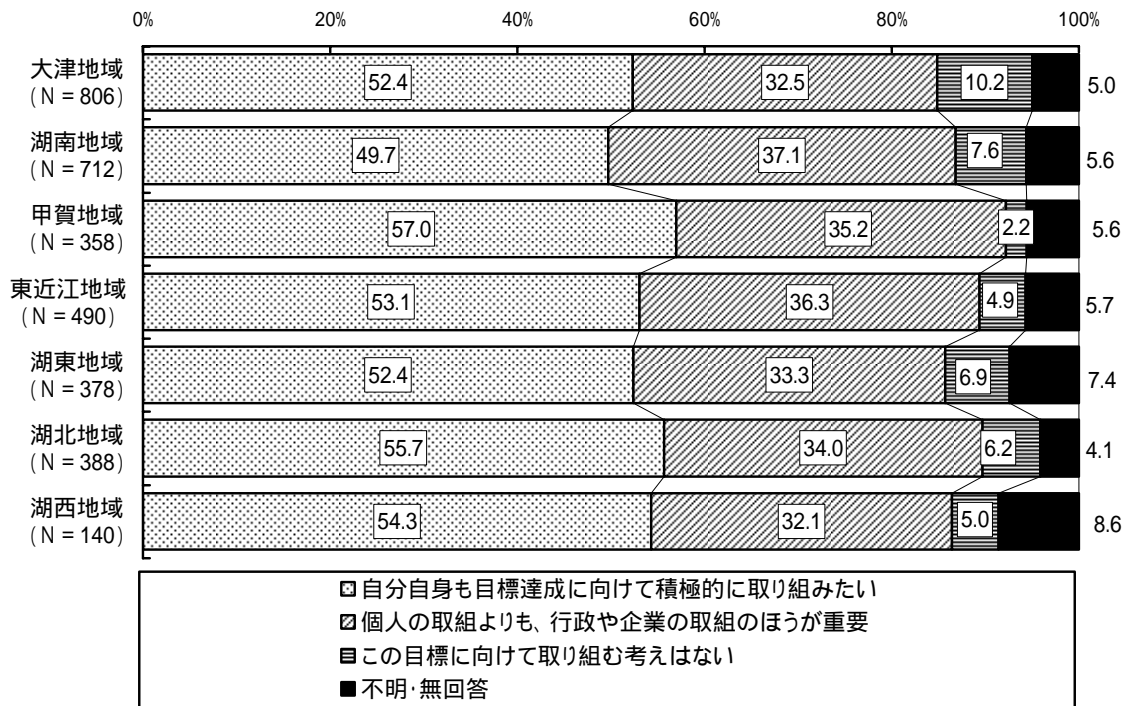
「自分自身も目標達成に向けて積極的に取り組みたい」が52.8%

温室効果ガス削減に向けての取組に「自分自身も目標達成に向けて積極的に取り組みたい」が52.8%と最も高く、次いで「個人の取組よりも、行政や企業の取組のほうが重要」が34.6%、「この目標に向けて取り組む考えはない」が6.9%となっている。



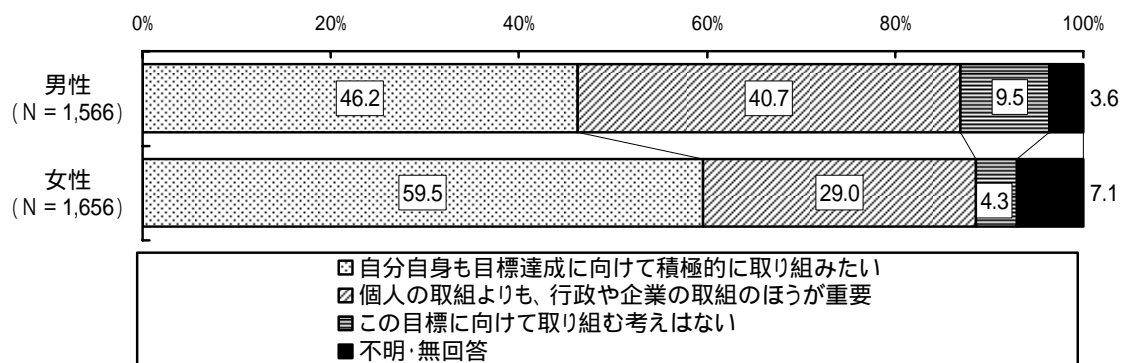
### 【地域別】

いずれの地域においても「自分自身も目標達成に向けて積極的に取り組みたい」が最も高く、次いで「個人の取組よりも、行政や企業の取組のほうが重要」の順となっており、傾向に大きな差はみられない。「自分自身も目標達成に向けて積極的に取り組みたい」は甲賀地域で 57.0%、「個人の取組よりも、行政や企業の取組のほうが重要」は湖南地域で 37.1%と他に比べ高くなっている。



### 【性別】

男女とも「自分自身も目標達成に向けて積極的に取り組みたい」が最も高く、男性（46.2%）に比べ女性（59.5%）の方が 13.3 ポイント高くなっている。男性では「個人の取組よりも、行政や企業の取組のほうが重要」が 40.7%と女性（29.0%）に比べ 11.7 ポイント高くなっており、女性に比べ上位 2 項目の偏りが少ない。



【性・年代別】

男性の30歳代を除くいずれの年代においても「自分自身も目標達成に向けて積極的に取り組みたい」が最も高く、男性の30歳代は「個人の取組よりも、行政や企業の取組のほうが重要」が最も高くなっている。一方、「この目標に向けて取り組む考えはない」は男性の40歳代、女性の20歳代で他の年代に比べ高く、それぞれ1割を超えている。

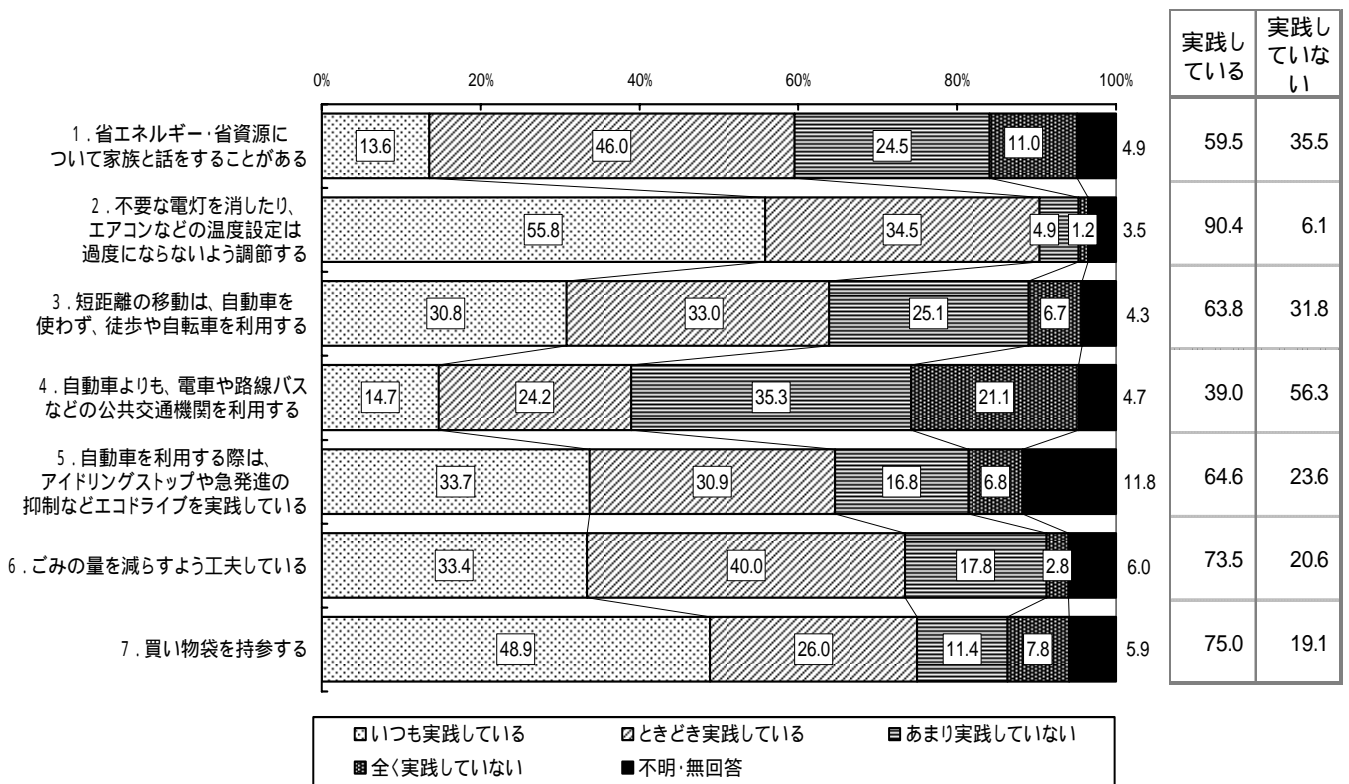
(2) 地球温暖化対策の取組

地球温暖化対策の実施

問 28 あなたは、次にあげる地球温暖化対策の行動を実践していますか。1～7のそれぞれの項目について、右の欄の1～4の中から選んでください。( はそれぞれ1つずつ)

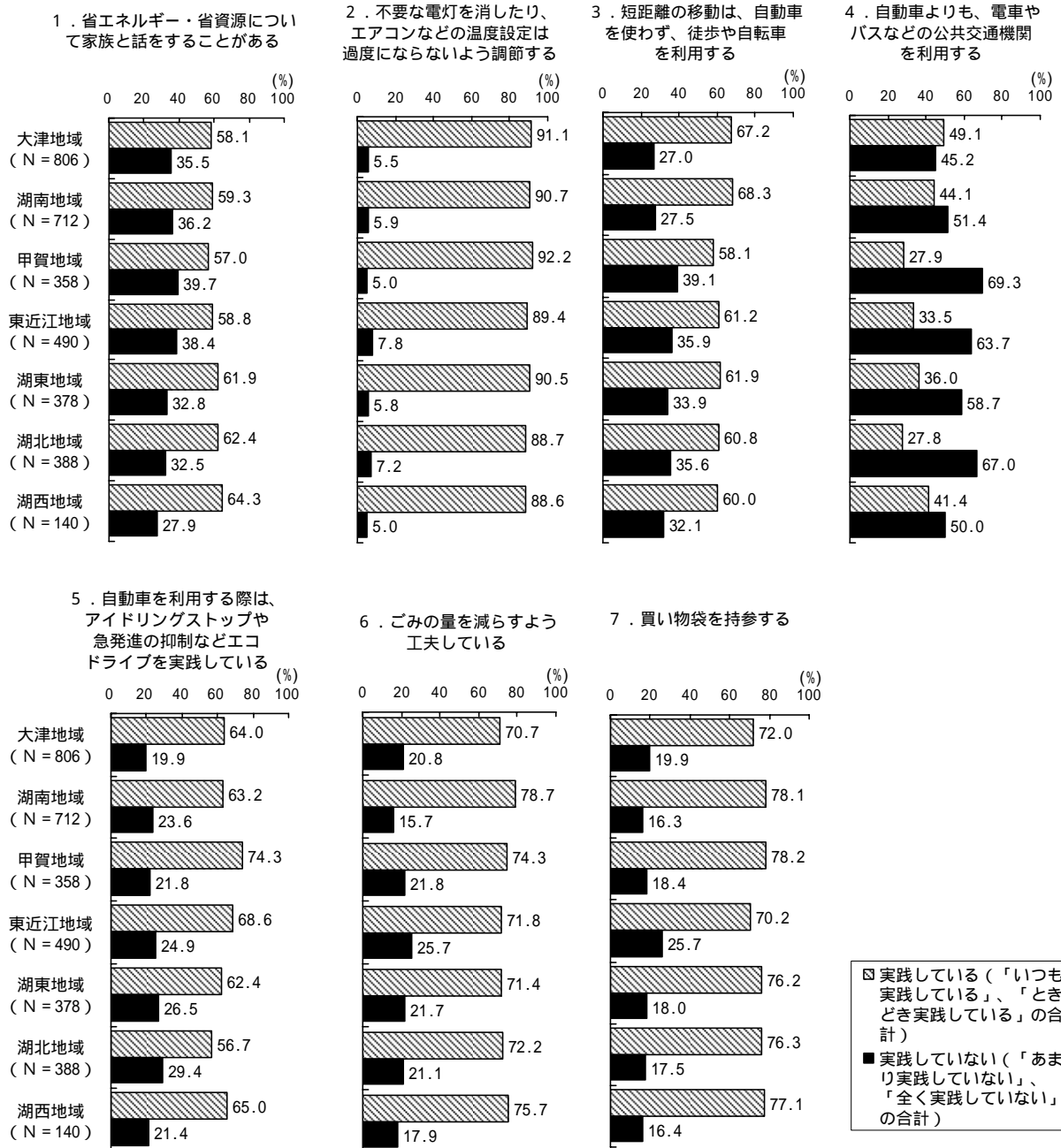
「不要な電灯を消したり、エアコンなどの温度設定は過度にならないように調整する」を実践しているのは9割強

地球温暖化対策の実施については、『実践している』(「いつも実践している」と「ときどき実践している」の合計)は「不要な電灯を消したり、エアコンなどの温度設定は過度にならないように調節する」が90.4%と最も高く、次いで「買い物袋を持参する」が75.0%となっている。一方、『実践していない』(「あまり実践していない」と「全く実践していない」の合計)は「自動車よりも、電車や路線バスなど公共交通機関を利用する」が56.3%と最も高く、次いで「省エネルギー・省資源について家族と話をすることがある」が35.5%となっている。



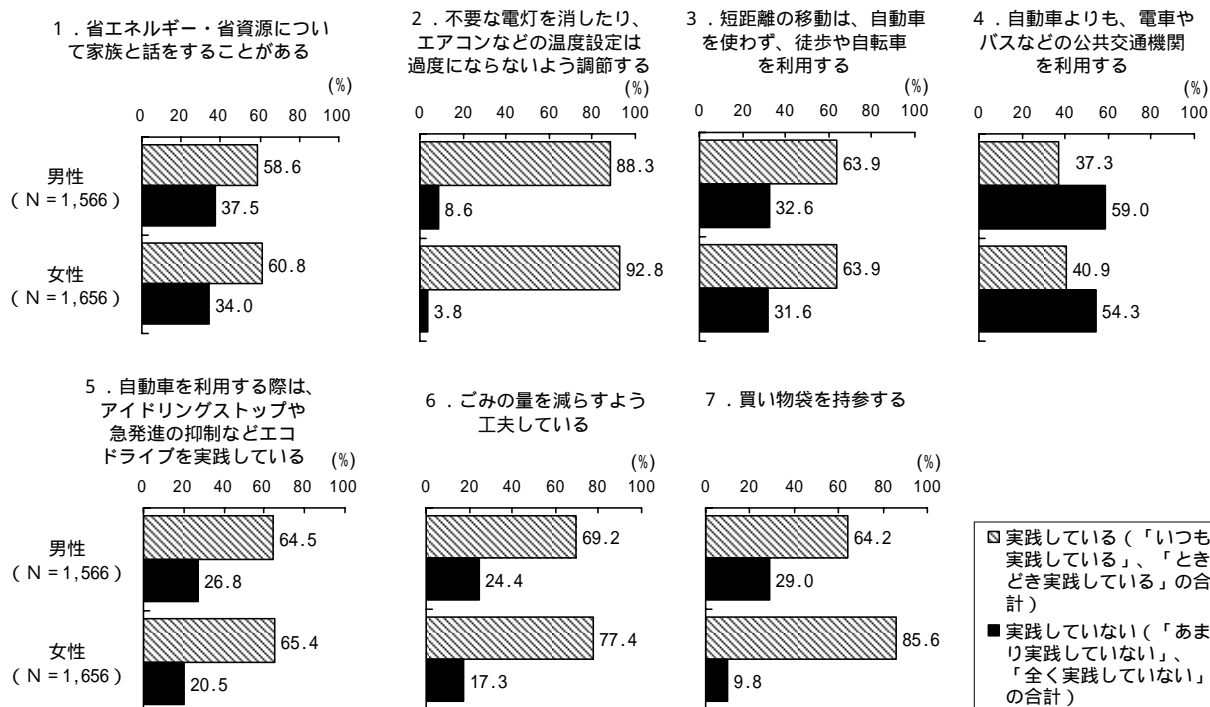
## 【地域別】

いずれの地域も『実践している』は「不要な電灯を消したり、エアコンなどの温度設定は過度にならないよう調整する」で最も高く、8割を超えている。地域間での差は「自転車よりも、電車やバスなどの公共交通機関を利用する」においてみられ、『実践していない』は甲賀・湖北・東近江地域で6割を超えている一方、大津地域では45.2%にとどまっている。



## 【性別】

男女とも『実践している』は「不要な電灯を消したり、エアコンなどの温度設定は過度にならないよう調整する」で最も高い。次いで、男性では「ごみの量を減らすよう工夫している」が、女性では「買い物袋を持参する」がそれぞれ続いている。



## 【性・年代別】

男女ともいずれの年代においても『実践している』は「不要な電灯を消したり、エアコンなどの温度設定は過度にならないよう調節する」が最も高く、女性の30～60歳代で9割を超えている。次いで、女性はいずれの年代も「買い物袋を持参する」が続いているが、男性では年齢によって差がみられ、20・60歳代は「ごみの量を減らすよう工夫している」が、30歳代は「短距離の移動は、自動車を使わず、徒歩や自転車を利用する」が、40・50歳代は「自動車を利用する際は、アイドリングストップや急発進の抑制などエコドライブを実践している」が、70歳以上は「買い物袋を持参する」がそれぞれ続いている。

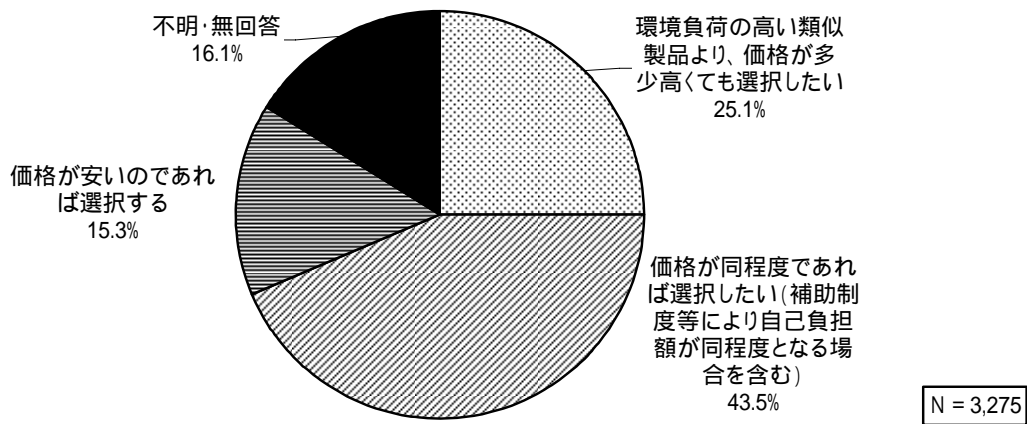
買い物等をするときの製品の選び方

問 29 あなたは、買い物等をするときに、次の製品を選択しますか。1～4のそれぞれの項目について、下の欄の1～3の中から1つ選び、その番号を記入してください。

1) 省エネ性能の高い家電製品(LED照明、エアコン、冷蔵庫、テレビなど)

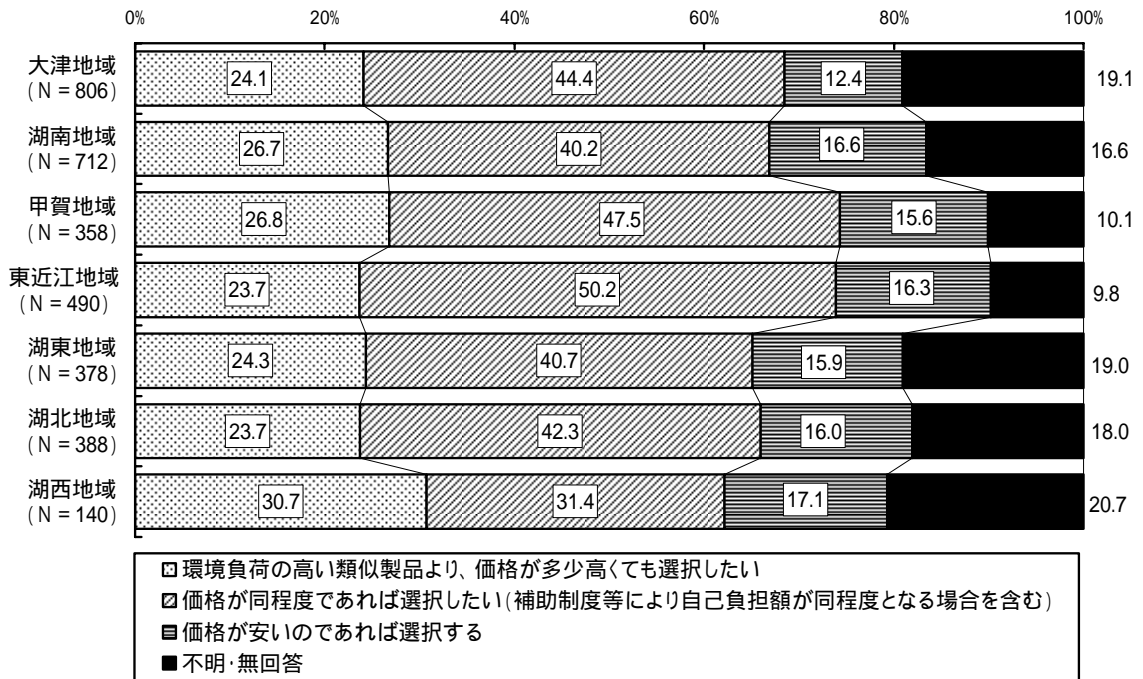
「価格が同程度であれば選択したい」が43.5%

省エネ性能の高い家電製品については、「価格が同程度であれば選択したい(補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む)」が43.5%と最も高く、次いで「環境負荷の高い類似製品より、価格が多少高くても選択したい」が25.1%、「価格が安いのであれば選択する」が15.3%となっている。



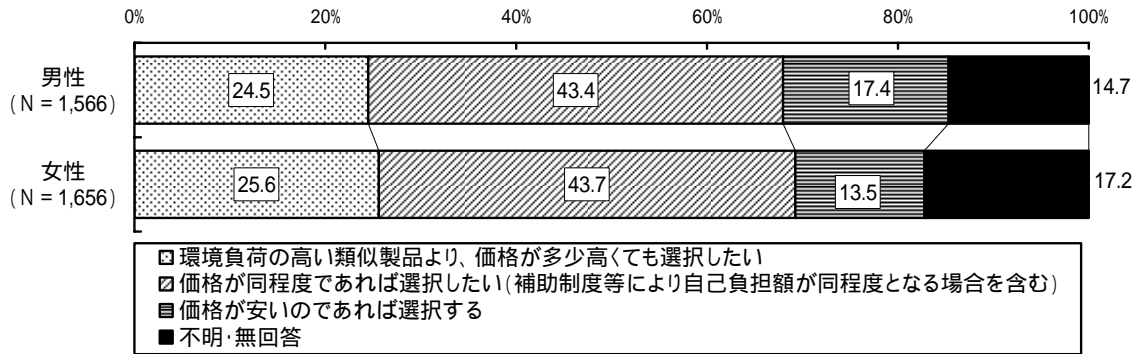
【地域別】

いずれの地域においても「価格が同程度であれば選択したい(補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む)」が最も高く、東近江地域では半数を超えている。



【性別】

男女とも「価格が同程度であれば選択したい（補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む）」が最も高く、傾向に大きな差はみられない。比較的男女差が多いのは「価格が安いのであれば選択する」で、男性（17.4%）に比べ女性（13.5%）の方が3.9ポイント低くなっている。



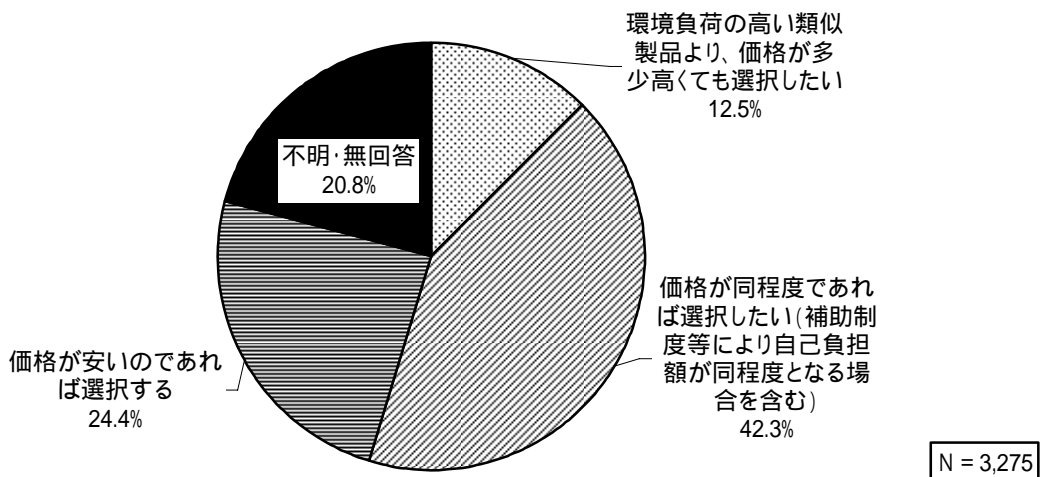
【性・年代別】

男性の70歳以上は「環境負荷の高い類似製品より、価格が多少高くても選択したい」、「価格が同程度であれば選択したい（補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む）」が同率で最も高く、その他の年代では男女とも「価格が同程度であれば選択したい（補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む）」が最も高くなっている。

2) 低燃費車やハイブリッド車、電気自動車などのエコカー

「価格が同程度であれば選択したい」が42.3%

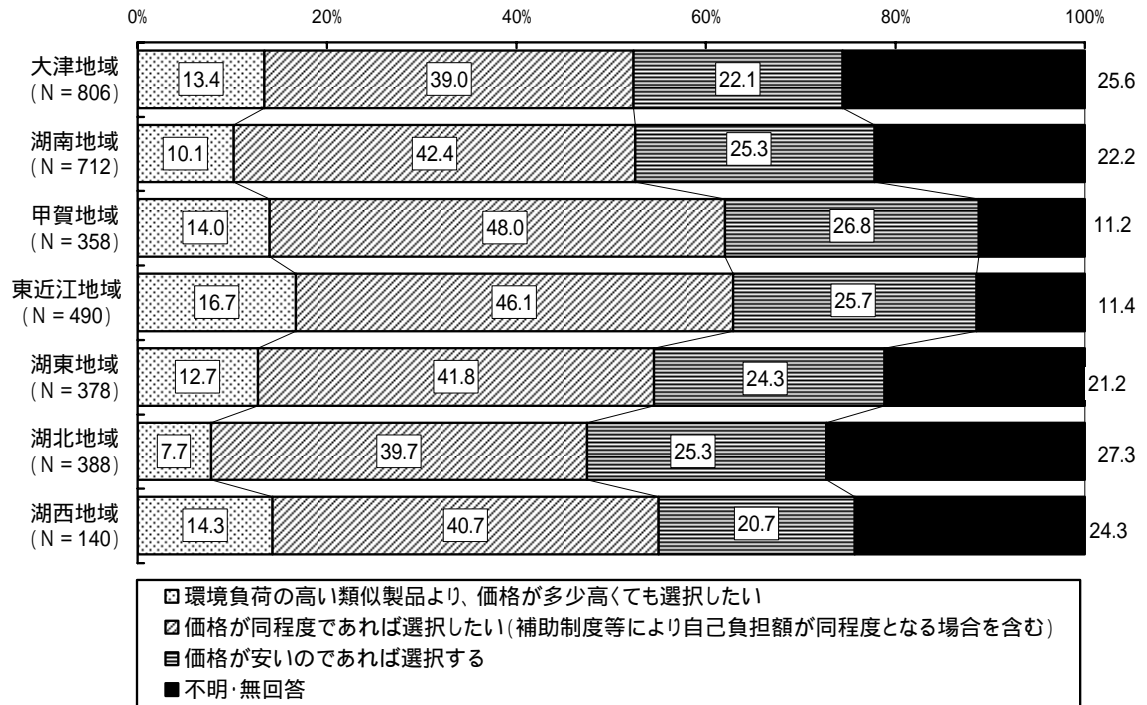
低燃費車やハイブリッド車、電気自動車などのエコカーについては、「価格が同程度であれば選択したい（補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む）」が42.3%と最も高く、次いで「価格が安いのであれば選択する」が24.4%、「環境負荷の高い類似製品より、価格が多少高くても選択したい」が12.5%となっている。





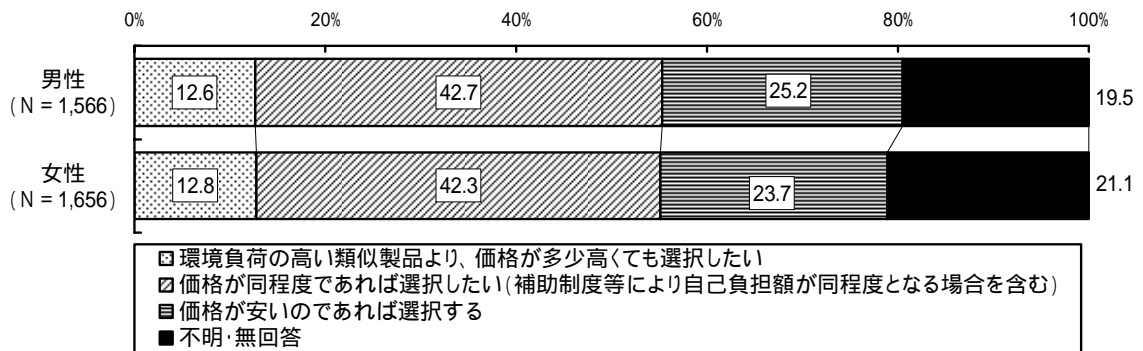
### 【地域別】

いずれの地域においても「価格が同程度であれば選択したい（補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む）」が最も高く、甲賀地域で48.0%と他の地域に比べ高くなっている。「価格が安いのであれば選択する」はいずれの地域においても2割を超えている。



### 【性別】

男女とも「価格が同程度であれば選択したい（補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む）」が最も高く、傾向に大きな差はみられない。



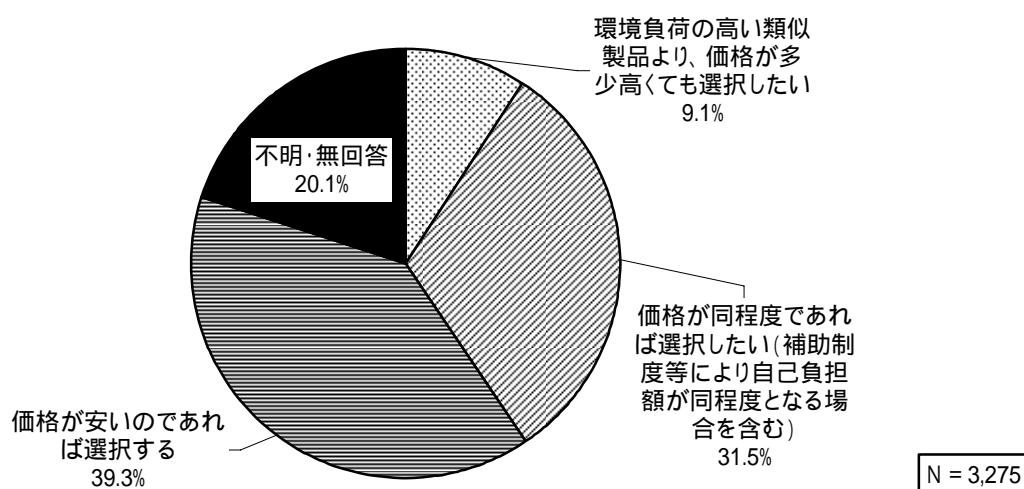
### 【性・年代別】

男女ともいずれの年代においても「価格が同程度であれば選択したい（補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む）」が最も高くなっており、男性の20・40歳代、女性の30歳代でそれぞれ5割を超えている。

### 3) 自然エネルギーを活用する太陽光発電、太陽熱温水器など

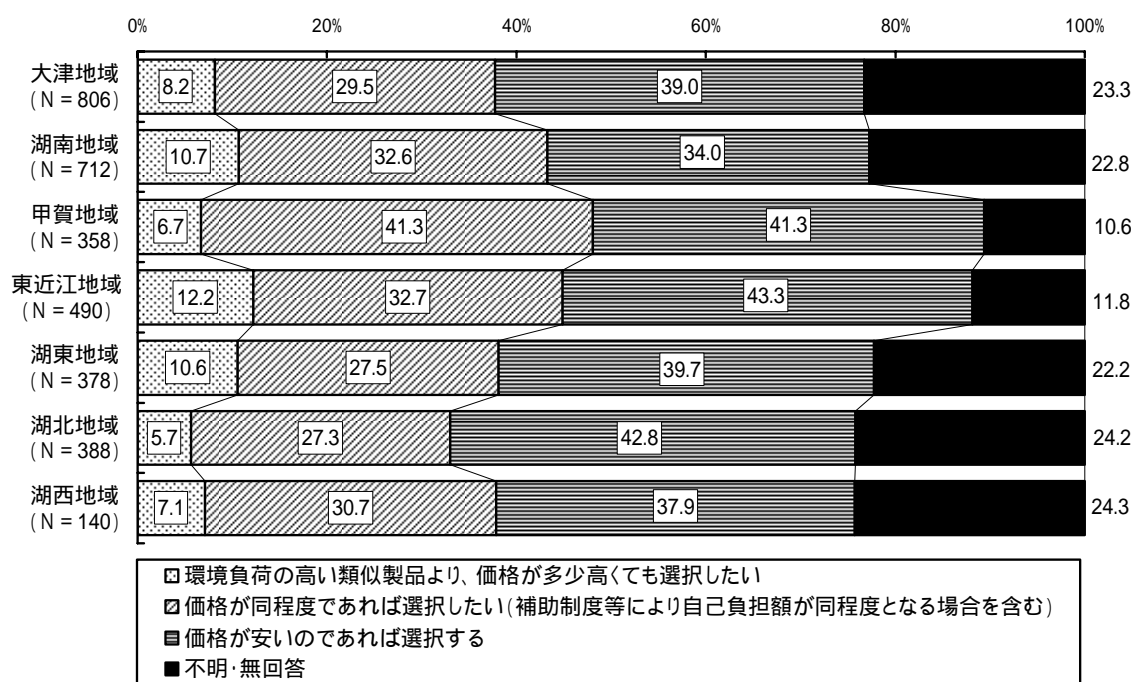
#### 「価格が安いのであれば選択する」が39.3%

自然エネルギーを活用する太陽光発電、太陽熱温水器などについては、「価格が安いのであれば選択する」が39.3%と最も高く、次いで「価格が同程度であれば選択したい(補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む)」が31.5%となっており、「環境負荷の高い類似製品より、価格が多少高くても選択したい」は9.1%にとどまる。



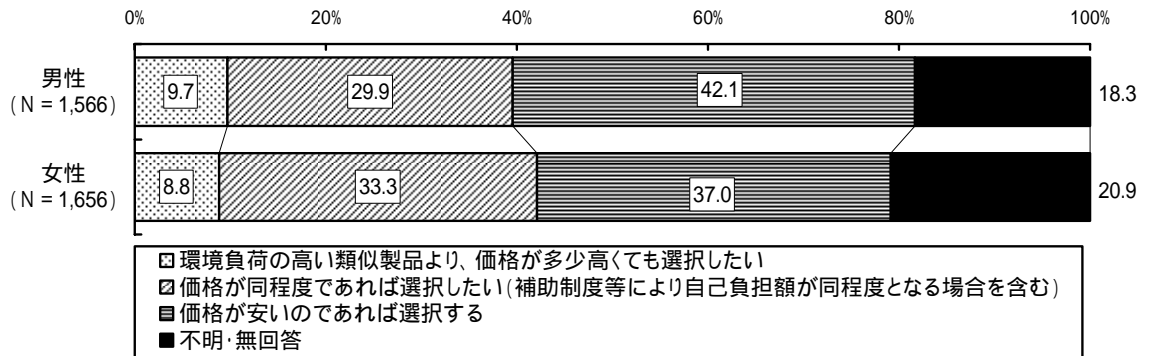
#### 【地域別】

甲賀地域では「価格が同程度であれば選択したい(補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む)」、「価格が安いのであれば選択する」が同率で最も高く、その他の地域では「価格が安いのであれば選択する」が最も高い。



【性別】

男女とも「価格が安いのであれば選択する」が最も高く、男性（42.1%）に比べ女性（37.0%）の方が5.1ポイント低くなっている。一方、「価格が同程度であれば選択したい（補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む）」は、男性（29.9%）に比べ女性（33.3%）の方が3.4ポイント高くなっている。



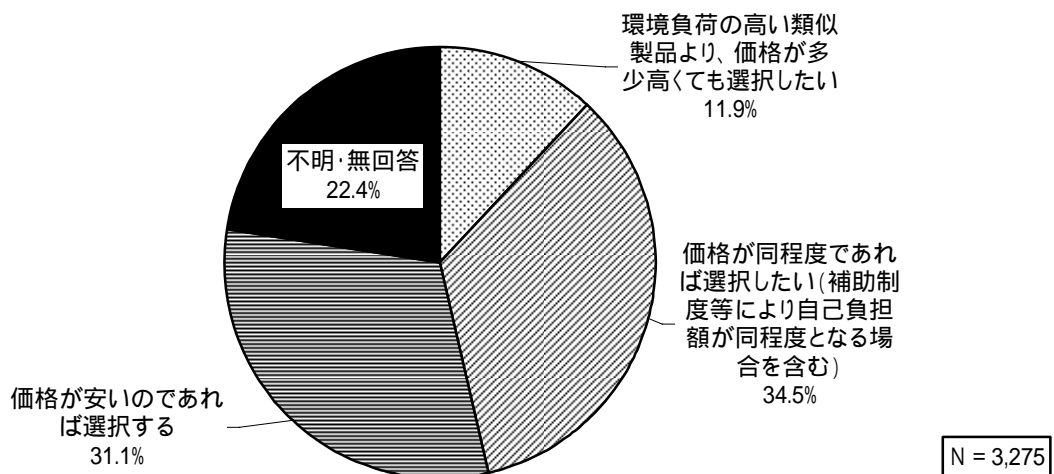
【性・年代別】

男性の30歳代以上、女性の30～50歳代では「価格が安いのであれば選択する」が最も高く、男女とも30歳代で他の年代に比べ高く5割を超えている。また、「価格が同程度であれば選択したい（補助金制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む）」は、男性の20歳代、女性の20歳代、60歳代以上で最も高くなっている。

4) 断熱性能の高い省エネ住宅

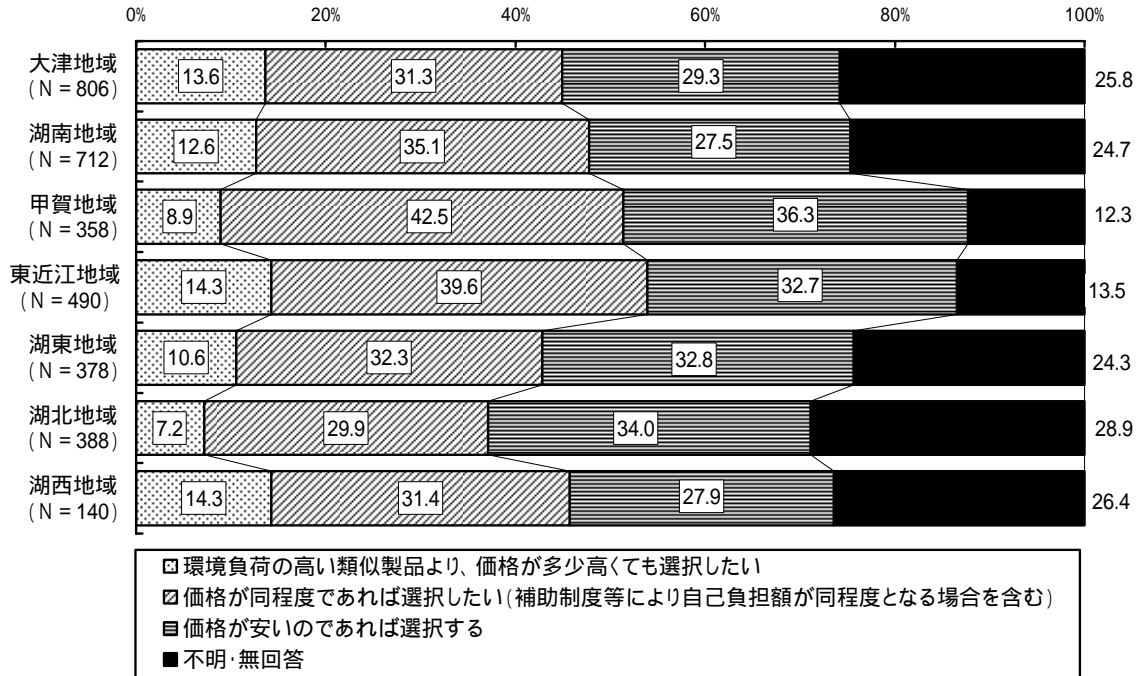
「価格が同程度であれば選択したい」、「価格が安いのであれば選択する」がともに3割強

断熱性能の高い省エネ住宅については、「価格が同程度であれば選択したい（補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む）」が34.5%と最も高く、次いで「価格が安いのであれば選択する」が31.1%、「環境負荷の高い類似製品より、価格が多少高くても選択したい」が11.9%となっている。



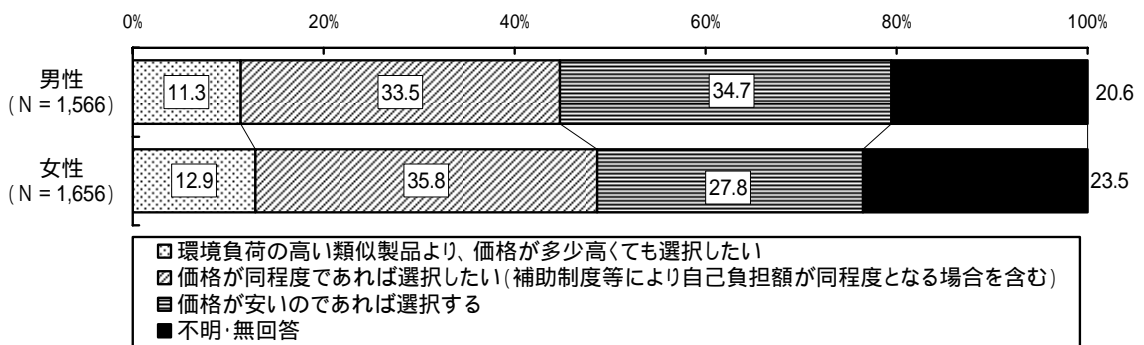
### 【地域別】

湖東・湖北地域では「価格が安いのであれば選択する」が、その他の地域では「価格が同程度であれば選択したい（補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む）」がそれぞれ最も高くなっている。



### 【性別】

男性は「価格が安いのであれば選択する」(34.7%)が、女性は「価格が同程度であれば選択したい(補助制度等により自己負担額が同程度となる場合を含む)」(35.8%)がそれぞれ最も高くなっている。



### 【性・年代別】

男性の50歳代以上では「価格が安いのであれば選択する」が最も高く、「価格が同程度であれば選択したい(補助制度等により価格が同程度となる場合を含む)」は男性の20~40歳代、女性のすべての年代において最も高くなっている。「価格が同程度であれば選択したい(補助制度等により価格が同程度となる場合を含む)」、「価格が安いのであれば選択する」の差が1ポイント以下と項目間に偏りが少ないのは、男性の30・50歳代、女性の70歳以上となっている。

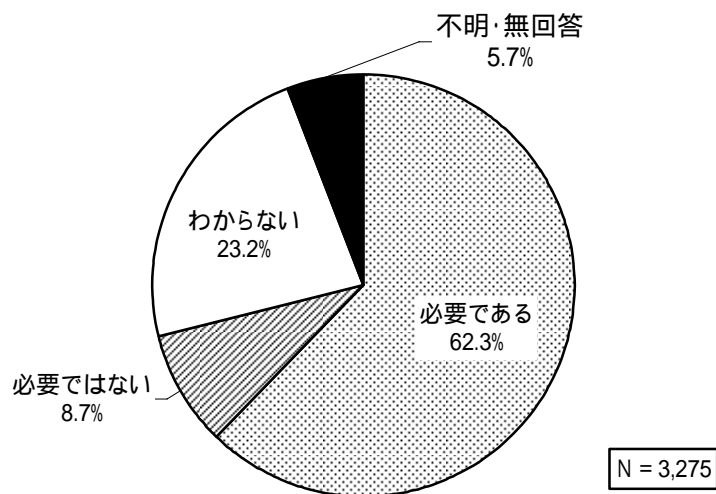
### (3) 地球温暖化対策の規制等による強化

#### 規制等による取組強化の必要性

問 30 あなたは、地球温暖化対策を実効性のあるものにするために、各々の自主的な努力に加えて、規制等により取組を強化することが必要であるとお考えですか。( は1つだけ)

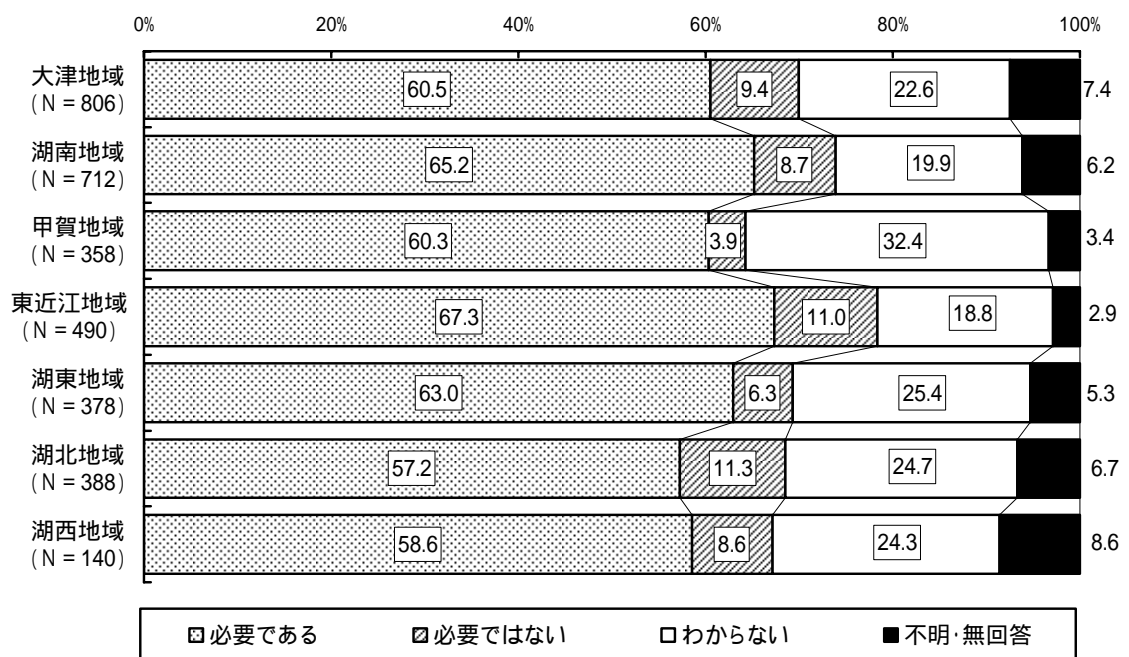
#### 「必要である」が6割強

規制等による取組強化の必要性については、「必要である」との回答が62.3%と6割強を占めている。一方、「必要ではない」は8.7%と1割未満にとどまり、「わからない」は23.2%となっている。



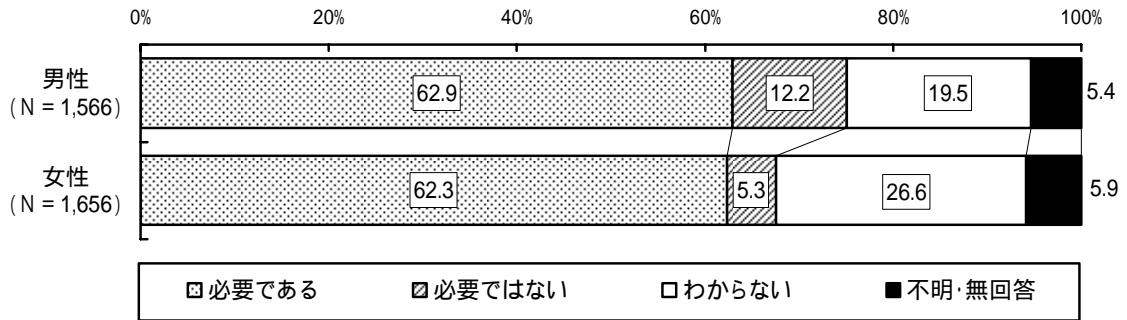
#### 【地域別】

いずれの地域においても「必要である」が最も高く、東近江地域で67.3%と他の地域に比べ高くなっている。一方、「必要ではない」は東近江・湖北地域で約1割と他の地域に比べ高く、その他の地域では1割に満たない。



### 【性別】

男女とも「必要である」が最も高く、いずれも6割を超えている。「わからない」は男性(19.5%)に比べ女性(26.6%)の方が7.1ポイント高く、「必要ではない」は男性(12.2%)に比べ女性(5.3%)の方が6.9ポイント低くなっている。



### 【性・年代別】

男女ともいずれの年代においても「必要である」が最も高く、男性の30歳代、女性の20・50歳代を除くいずれの年代においても6割を超えている。一方、「必要ではない」は男性の30・40歳代で16.1%と同率、女性の20歳代で12.5%と他の年代に比べ高くなっている。